

平成30年度 学校関係者評価 2学期

中津市立三郷小学校

1. 教育目標 自ら進んで、楽しく学び続け 様々な見方をして考えを深め、自分の言葉で発言(表現)し 共に学び磨き合う、最後まであきらめないいつも元気な三郷っ子
2. 重点目標 ①基礎基本の定着と活用力の育成
②対話力をみがき、認め合う力の育成
③進んで健康な体をつくる子の育成
3. 重点目標・達成指標、重点的取組等

評定判断基準	
A	…達成率90～100%
B	…達成率70～ 89%
C	…達成率60～ 69%
D	…達成率60%未満

重点目標	達成指標	重点的取組	取組指標	項目 評定	評価	学校への意見及び要望
基礎基本の定着と活用力の育成	○児童アンケートにより、「自分の考えを説明できた。」と答えた児童を80%以上にする。 ○ 単元テストでは、すべての観点で80点以上の児童割合を各学年80%以上(ただし、C層の児童においては、70点以上)にする。	学校 ○自分の考えを持ち、伝え合う場のある授業に取り組む。	○毎日1回は、話型(説明の基本形や 友だちの発言に対して等)を活用して、ペア・グループ学習で自分の考えを伝え合う場を設ける。 ○ 単元を見通して、学習計画を話し合い提示する。(算数科) ○ 授業のはじめに、自分のノートで前時の振り返りをする。(算数科)	A	B	○中学校と連携して学習の計画を進めていることは、すばらしい取り組みと思う。学力向上のためにも良い。 ○子どもたちの帰りが遅い時に「今日、補習で遅くなった。」と話してくれる。先生や子どもたちが頑張っていると思う。 ○単元テストや子どもの能力に応じた指導80%→70%は、子どもにとっても目標達成や励みになると思う。 ☆色々取り組みを工夫されている授業に、子どもたちもついていって欲しい。 ☆楽しく学習できるように個々の子どもたちを常に見て欲しい。 ☆学習意欲を引き出して成績アップする喜びを味わわせ、さらにやる気を伸ばして欲しい。 ☆少人数なので、1時間の授業で全員が必ず発言できるように工夫して欲しい。 ☆このまま頑張ってもらいたい。
		家庭 ○家庭学習の習慣化を図る。	○毎日、家庭学習の連絡帳へのサインと声かけを行う。 ○毎月1回「家庭学習チェックシート」に感想を書く。	B		○忙しい保護者と子どもが会話できる時間ができるので良いと思う。 ☆一日の出来事を話したり褒めてもらったりできるといいと思う。 ☆保護者の努力も認めてあげて欲しい。 ☆家族が家庭学習を毎日チェックして欲しい。 ●家庭では声をかけても宿題以外なかなかかしようとしなない。
		地域 ○学習支援をするために、なかつくすくプロジェクト(学習サポーター)に参加する。	○なかつくすくプロジェクトで、さまざまな学習活動に参加要請があった時は、積極的に参加する。 ○学校公開日等の行事へ積極的に参加し、学校の取り組みについて感想などを述べる。	B		○子どもたちは、体を動かす作業(ひょうたん植え等)は、スムーズに活動し、頭を使う活動(かるた)は、集中力が続かないが、みんな上手になった。 ○三郷っ子集会、学校公開日への参加者が以前に比べて増えているように思う。メール配信が功を奏していると思う。保護者の意識が少しずつ変わっているのではと思う。 ●学校公開日の保護者が少ないように思う。(ワークショップなど)
対話力をみがき、認め合う力の育成	○児童アンケートで「児童朝会や遊び集会などで感想を言えた」と回答した割合を70%以上にする。 ○自己評価アンケート(児童・保護者)で「あいさつ+1ができた」と回答した割合を80%以上にする。	学校 ○お互いに認め合う集団づくりを行う。	○全校で「いいとこみつけの木」に取り組む。 (いつ・どこで・だれが・何を・どうした・自分の気持ち、の視点で) ○対話力を磨くための「あいさつプラス1」に全校で取り組む。	A	B	○「いいとこみつけの木」の取り組みは、子どもの存在や居場所を認めることになるので良い。続けて欲しい。 ☆担任等は、1日1回は全員に声かけをして欲しい。 ○友だちの良いところが具体的に分かる言葉で表現することは大変良い。 ○誰もがよいところを認め合えば、いじめもなくなると思う。 ☆各学級ごとで、朝の会で「今日もあいさつ+1をやろう！」と唱和してはどうか。子どもの意識づけに良いのでは。 ●あいさつはこちらからすれば返してくれるが、子どもから先にしてくれることは少ないようだ。
		学校 ○自分の思いや感想を自分の言葉で伝える子どもを育成する。	○児童朝会や遊び集会、 掃除の終わり などで感想発表の場を設ける。 (一日に一度は発表できる機会を)	B		○かるたの活動を通してだが、子どもにも個性があり一律にはいかない。子どものレベルに応じた一言を人前で話させることは大切と思う。 ☆授業・行事等で「表現の場・発表の場」を増やして欲しい。 ☆発表したことに対して、褒めたり励ましたり等していただきたい。
		家庭 ○家庭内でのあいさつを励行する。	○PTA保体校外指導部会を中心にしたあいさつ運動に学期に1回は参加する。 ○毎日、保護者から名前を呼んであいさつをする。 ○学期に2回「あいさつがんばりカード」に感想を書く。	B		●進んで挨拶は、不十分。家庭で挨拶の励行はできているのか？ ☆保護者の中にも挨拶できない人がいるので、子どもと一緒にできるように促して欲しい。
		地域 ○あいさつ・声かけ運動を推進する。	○登下校時に子どもを見かけたら、あいさつや言葉かけをする。 ○地域での子どもたちの様子について、学校に伝える。	B		○朝は良いと思う。 ○通学バスに乗ってみると、大きな声で「降ります。」「ありがとうございます。」と言って、とても良い。 ●下校時は少し悪くなったと思う。運動会等の行事で疲れたのではないか。3学期に期待する。 ●下校時、子どもからの「進んで」「相手の顔を見て」「はっきりした言葉で」等は十分でない。
進んで健康な体をつくる子の育成	○ 体カテストの「立ち幅跳び」において、クリア数を70%以上に する。 ○児童アンケートで就寝時刻を意識できる児童の割合を70%以上にする。 ・9:00(低) ・9:30(中) ・10:00(高)	学校 ○体育学習や委員会活動を活用した運動の日常化をめざす。	○毎朝、「GM・F(グッドモーニング・フィットネス)」を全校で実施する。 ○授業の始まりに学年の学習内容や発達段階に応じたサーキットトレーニング・エクササイズを毎時間5分間実施する。 ○学期に1度、立ち幅跳びの計測を行う。 ○月に1度、縄跳び大会を行う。	A	A	○月に1度の縄跳び大会をすることは良い。子どものやる気と達成感ができる。 ☆体育の授業での始めの5分間、技能的なものを年間通して実施するといいいのではないか。 ☆集団でできる体力づくりも取り入れ、運動の面白さを味わわせて欲しい。 ☆各地区に子どもが少なくなり、「昔の遊び」をする子どもはいない状況である。先生に負担をかけるが、よろしく願いたい。
		家庭 ○自分に適した生活リズムの習慣化を図る。	○毎日、家庭で決めた就寝時刻を厳守させる。 ○毎月、「チェックシート」の保護者欄には、子どもを励ます取り組みの感想を書く。	B		☆各家庭の事情もあるので、それぞれが最良のやり方を工夫できたらと思う。 ☆目標を決めてやることは大事だと思うが、保護者にとってあまり負担にならないといいと思う。
		地域 ○学校の体育的行事へ積極的に参加する。	○プール納め、運動会、持久走大会に積極的に参加し、児童を応援する。	A		○学校通信でPRされている。(町内で閲覧される。)公民館の集まり「サロン」でも、学校通信のことが話題になる。子どもの写真等で話すが、より「行事」を記載したらいかがでしょうか。